

図書館だより

1987.12

Merry
X'mas



目次

クリスマスミサ 鈴木智子	2	新規継続雑誌紹介「English Express」	7
クリスマス関係資料	2	藤に咲く花 8 クリスマスカクタス	8
マイクロ資料の紹介	4	お知らせ	8

クリスマスのミサ

鈴木智子（国文学）

今年もまたクリスマスを迎える季節になりました。

この学園では毎年冬休みに入る前に、クリスマスの行事をしておりますが、今年は12月15日、マリア院の聖堂でクリスマスのミサが捧げられます。

12時半、マリア院集会室に集まって、簡単なオリエンテーションの後、お友だちから一人一人ローソクの光をもらって、二階の聖堂へキャンドル・サービスをするのですが、12月のうす暗い午後の聖堂に、ローソクの明るさがひろがっていくのは美しいものです。

光の波はチャペルを一巡して中央の通路から左右の祈り台に分かれ、みんなが着席したところでミサが始まります。

「闇に住む人は 光を見た…」

マンドリンの演奏に変わって、合唱団がラテン語で歌い始めます。

このミサに、私たちは二・三年前から、自分

の生活の中から何か心して用意したものを、困っている方たちへの小さなプレゼントとして持ち寄っています。昨年はここで集まったお金をカリタス・ジャパンを通して国内の貧しい方たちに送金いたしました。今年は海外の飢えに苦しむ子供たちに送り届けたいと計画しています。

ローソクの光が、一つまた一つと点火されて明るさと暖かさを増していくように、私たちも困っている人、貧しい人たちと少しでも物心両面で明るさと暖かさを分かち合うことができるなら、それこそ本当のクリスマスになるでしょう。

12月24日の夜8時から、マリア院の聖堂ではクリスマスのミサが捧げられます。キリストのもたらして下さった平和が、すべての人に満たされますようにと願って、心静かに過ごすクリスマスが、若い人にとって生涯忘れられない体験の一つとなるようにと願っております。



クリスマス関係資料



宗教

『教会の祭と行事の祝い方』 スー・アルトハウス 日本基督教団出版局 1985 196/A41

『キリストの祭り』 朝日新聞社 1982 196/A82

『クリスマスの招き—聖書伝承・歴史・美術』 今橋朗 藤葉出版社 1977 196.2/142

『クリスマスとイースターの祝い方』 石川和夫 日本基督教団出版局 1983 196.2/176

『必ず役だつクリスマスの本』 全3巻 AVAC 0教会協力部編 キリスト教視聴覚センター

1982-84 196.2/Ki54

『クリスマス あ・ら・かると』 日本日曜学校助成協会 1981 196.2/Ku67

『クリスマスハンドブック』 日本日曜学校助成協会 1983 196.2/N71

『切手でみる世界のクリスマス』 車潤順文 村田柱一資料 聖山社 1985 196.2/Sh11

『クリスマスキャロル メトロポリタン美術館版』 デヴィッド・ウィルコックス 日本基督教団出版局 1985 196.5/W74

絵本

『さむがりやのサンタ』 レイモンド・ブリッグズさく・え すがはらひろくにやく 福音館書店 1985 376.19/B73

『クリスマス・イブ』 マーガレット・W・ブラウンぶん ベニ・モントレソールえ やがわすみこやく ほるぷ出版 1985 376.19/B77

『セシンのボサダの日 メキシコのものごと』 マリー・ホール・エッツ、アウロラ・ラバステイダ作 マリー・ホール・エッツ画 田辺五十鈴訳 富山房 1979 376.19/E79

『クリスマスのものがたり』 フェリクス・ホフマンさく しょうのこうきちやく 福音館書店 1986 376.19/H81

祭礼

『サンタクロースとクリスマス』 C. ルバニョール 東京書籍 1983 385/L55

手芸

『手作りでも迎えるクリスマス』 文化出版局 1986 594/889

『Ondori 手作りのクリスマスブック』 雄鷲社 1986 594/065

『デンマークのクロスステッチ4 メリー・クリスマス』 山梨幹子訳 文化出版局 1980 594.2/058/4

音楽

『Favorite Christmas carols』 Cofone, C. J. F. Dover 1975 765/C83f (洋書)

『クリスマスのうた』 カトリック教育協議会 767/Ku67

文学

『文学のおくりもの11 サンタクロース殺人事件』 ビエール・ヴェリー 晶文社 1983 908/B89s/11

『文学のおくりもの23 サンタクロースの反乱』

ビエール・ヴェリー 晶文社 1986 908/B89s/23

『クリスマスストーリー集1 贈り物』 レイ・ブラッドベリ他 角川書店 908.3/Ku67/1 (文庫)

『世界の一流作家によるクリスマス名作集』 トルストイ他 中央出版社 1976 908.3/Se22

『うまやのひかり クリスマスのどうわ』 ジュヌヴィエーヴ・アジェル 光明者 1965 909.3/H55

『世界のクリスマス伝説』 大久保エマ訳 女子パウロ会 1976 909.3/Se22

『少年少女文庫16 世界クリスマス伝説集』 上沢謙二編 中央出版社 1966 909.8/Sh96/16

『キリスト教劇集 クリスマス篇』 たねの会編 聖文舎 1973 912.6/Ki54

『クリスマス劇集』 阿貴良一 福音館書店 1955 912.6/Ku67

『サンタ・クロースからの手紙』 J. R. R. トールキン 評論社 1981 933.9/To47

『もうひとつのクリスマスのうた』 ヴォルフガング・フィートカウ編 日本基督教団出版局 1972 941/G34

他に絵本など多数



マイクロ資料の紹介

図書館には、さまざまな形態の資料があるが、図書や雑誌は、所蔵も利用も多く、もっとも一般的な資料である。一方、あまりなじみのない資料の筆頭格としては、マイクロ資料が挙げられるだろう。このマイクロ資料とは、要するに、マイクロ写真の技術によって、文献や図面などをごく小さな写真に撮り、映画フィルムのようなロール状、あるいは、葉書大のシート状などにしたものである。肉眼では通常読むことができない縮小率なので、利用に当たっては専用の機械が使用される。

図書や雑誌等の現物を読むのに比べ、著しく不便厄介であり、これは、一度でもマイクロ資料を使った経験のある人なら、皆、口を揃えて言うところである。しかし、利用上の煩わしさにもかかわらず、マイクロ資料が作成され、図書館においても、その所蔵が増加しつつあるについて、それにはそれなりの理由があるのである。

第1に、各図書館で収集すべき資料の現物入手が困難になってきている点が挙げられる。たとえば、多く1点限りしかない古書を、複数館で所蔵できるわけがない。その古書も、個人所有のものであればいずれ古書市場に流出し、獲得の機会がこないでもないが、既に図書館等に所蔵されている場合には、その望みもない。東京にある国文学研究資料館では、現物も集めるが、全国に散在する古書をマイクロ写真に撮って収集し、研究者の利用に応じている。古書に限らずとも、雑誌・新聞・統計集のような長期継続刊行物を、今後の分はともかく、創刊以来のバックナンバーを完全に揃えようとするれば、多大な手間・暇・金がかかる。それでも揃えばよいが、大部なもの、逆に希少なものは難しい場合が多い。殊に雑誌・新聞については、用紙事情からして長期保存に耐えられないものが多

く、状況は一層厳しい。

従って、図書館としては、資料の現物収集をあきらめ、何らかの形で複製を購入せざるを得ず、その一つがマイクロ写真による資料なのである。この場合、価格が現物より相当安くなるという、購入側にとって無視できない要素がある。

第2に、資料スペースの問題がある。図書館が存在する限り、収集資料は増加する一方である。その増加に対応して、資料を保管するスペースも順次確保して行ければよいが、そう簡単には行かない。利用者の要求に応じるために新資料を買い続けるならば、既存の資料とその保管方法について、何らかの処置を講じなければならない。現物に手を加えず、書架を工夫することによって収納効率を高めることもできるが、それはせいぜい数分の一でしかない。もっとも有効な手段は、資料自体を物理的に圧縮することである。その一般的な方法が、現在ではマイクロ写真によるものであり、スペースは数十分の一で間に合う。将来、レーザーディスクやCDによる出版が本格化すれば、スペースは紙を主体とした現在の出版物に比べ、数百分の一規模となってしまふ。スペースを重要視するのは、あるいは利用の便を等閑視するものとして、お叱りを受けるかも知れない。しかし、成長する図書館に合わせた器が準備される保証が定かなされない以上、マイクロ資料の購入のみならず、既蔵資料のマイクロ化もまた、やむを得ない選択となるのである。

第3に、第1の点と関連するが、資料の普及が挙げられる。稀覯資料、殊に現物が1点しか存在しない資料の場合、速やかに複製を作成し、それを各所で保存して、万が一貴重な原資料が湮滅した場合に備える必要がある。また、保存と同時に、複製措置によって希少な資料が全世

界に普及することが可能となり、利用者は大きな恩恵を受けることとなる。高価な原裝複製もよいが、書誌学上の問題や、ブッキッシュな興味を除けば、マイクロ資料でほとんど用が足りるはずである。日本近代文学の研究にとって、その基礎資料となる諸雑誌の複製及びマイクロ複製は、研究条件の格段の向上として評価されている筈である。雑誌「新潮」や「中央公論」の戦前までの一揃いを、自分の書齋の一隅に持つのも可能だとしたら、マイクロ・フィルムの操作の煩わしさなど物の数ではないだろう。

マイクロ資料の利用

マイクロ資料は、一般書架には排架されていない。また、目録も残念ながら不備で、閲覧用カード目録では、個々の資料名からの検索はできない。一番確実な方法は、「物語文学総瞰」とか「歌学資料集成」という資料集毎に、付録

として付いている解説または収録書総目録で資料を検索し、収録リール番号を確認して、カウンターの職員に申し込むことである。それらの解説または収録書総目録は、図書の場合は参考書架に、雑誌の場合は参考書架または当該雑誌の排架場所にある。

マイクロ資料は、前述したように、フィルム自体を肉眼で読むことはできず、リーダーと呼ばれる専用の機械を使用する。しかし、レンズやフィルムのセットは全て職員が行うので、利用者は目的の箇所を探し出し、拡大された画面を読むだけである。もちろん、後始末も職員がするので、あなたは終わったことを連絡するだけでよい。

読むだけでなく、必要な箇所のコピーをとることもできる。最大A3までで、料金はサイズにかかわらず1枚30円である。コピーが必要な場合は、職員に申し込んでいただきたい。

所蔵マイクロ資料紹介

『大東急記念文庫所蔵 古写古版 物語文学総瞰』

大東急記念文庫は、東急コンツェルンの五島慶太が、政友会総裁・久原房之助の収集した久原文庫を買収し、それを主体として開設した文庫で、日本の古典籍の尤品善本を多く所蔵することで知られている。この『総瞰』には、古物語（竹取・伊勢等10種）、説話物語（靈異記・今昔等5種）、歴史物語（栄花・大鏡等6種）、軍記物語（平家・太平記等7種）の他に、隨筆（枕草子・徒然草）、日記（土佐・蜻蛉）の計32種95点を収めている。原本は室町末期から江戸中期頃までの写本・古活字本・板本で、狩谷掖斎・屋代弘賢・橘守部等、名家の書き入れ本も多い。別冊として川瀬一馬による詳細な解説がある。

形態：35mm ポジティブ ロール・フィルム 80リール

『静嘉堂文庫所蔵 歌学資料集成』

静嘉堂文庫は、日本と中国の古典籍を中心とする文庫で、明治中期、三菱・岩崎家の文化事業として収集が開始され、曲折を経て現在は財団法人として運営されている。優秀な個人文庫を次々に買収し、東洋古典の宝庫として著名である。

この『歌学資料集成』には、江戸末期までの写本・刊本による当該資料を、総記、勅撰集、私撰集、御集・家集、歌合・歌会、連歌・俳諧、狂歌・川柳の7編に分け、計1133部、3200冊を収めている。別冊として収録書総目録（付・書名索引）がある。

形態：35mm ポジティブ ロール・フィルム 252リール

『静嘉堂文庫所蔵 物語文学書集成』

江戸末期までの写本・刊本による当該資料

を、古物語、源氏物語、説話物語・擬古物語・物語草子、草子・日記・紀行、歴史物語・軍記物語、文集・消息文・雑の6編に分け、計938部、4130冊を収める。源氏物語は注釈書を合わせ100部をこえ、これだけでも特記すべき資料集である。別冊として収録書総目録(付・書名索引)がある。

形態：35mm ポジティブ ロール・フィルム 318リール

『静嘉堂文庫所蔵 国語学資料集成』

静嘉堂文庫の所蔵資料の中核をなすと言われる。国語学者・松井簡治博士の旧蔵書中、江戸時代から明治にかけての国語学研究の基礎資料、472部、769冊を収める。文法、文字、仮名遣、訓点、音韻、言語・語源・冠辞、方言・俗語・俚語の7編である。別冊として収録書総目録がある。書名索引はない。

形態：35mm ポジティブ ロール・フィルム 54リール

『占領軍検閲雑誌』

日本における出版物の検閲については、昭和戦前期の事例がよく知られているが、太平洋戦争敗戦後の占領軍によるものは、近年ようやくその実態が明らかになりつつある。後者において、検閲によって何らかの処置がなされた場合も、その箇所を空白・伏字等にはせず、全くその痕跡をとどめないようにさせたこと、また、検閲それ自体についての言及・記事を一切許さなかったことが、永年その実態を不詳にしてきたと言われる。

ここに提供される資料は、昭和20～24年の5年間に、占領軍の民間検閲支隊で検閲を受けた雑誌のマイクロ・フィルムによるコピーである。現物は昭和24年の検閲制度の終了後、アメリカ合衆国のメリーランド大学に送られ、他の検閲資料(図書・小冊子・新聞等)と共に、現在まで保存されてきたものである。

これらの資料の現物は、出版当時の劣悪な用紙事情から、全体的に崩壊の危機に瀕していると言われており、日米協力の上で行われ

た今回のマイクロ化は、時宜に適した措置であろう。今回収録されたのは約3500種、9500冊の雑誌で、ページ数にして約16万ページに及ぶという。別冊として奥泉栄三郎編『占領軍検閲雑誌目録・解題』がある。

形態：35mm ポジティブ ロール・フィルム 260リール

『新潮』(マイクロ版近代文学館1)

文芸雑誌の代表的存在『新潮』の、創刊号(明治37.5)から太平洋戦争で休刊するまで(昭和20.3)をマイクロ化したもの。全490冊、10万6千ページを収める。別冊として小田切進編『新潮総目次・執筆索引』がある。

形態：ネガティブ マイクロフィッシュ 1317枚

『解放』(マイクロ版近代文学館2)

大正～昭和初期の社会主義的な傾向の強い総合雑誌。便宜上第1次と第2次に分けられるが、第2次の特に後半期の刊行の実態が必ずしも明らかではなく、終刊も不明である。ここには第1次の創刊(大正8.6)から、第2次の実質的な終焉(昭和3.1)までの104冊を収めた。別冊として小田切進編『解放総目次・執筆索引』がある。

形態：ネガティブ マイクロフィッシュ 321枚

『中央公論』

総合雑誌として最も長命な「中央公論」は、昭和45年12月号で通算1000号を迎えた。それを記念して、その前身である「反省会雑誌」「反省雑誌」、および「中央公論」の太平洋戦争で休刊になる昭和19年7月号までをマイクロ化して頒布した。別に前誌を含む1000号までの総目次がある。

形態：35mm ポジティブ ロール・フィルム 168リール

新規継続受入雑誌紹介

「ENGLISH EXPRESS」 朝日出版社 月刊
1987年7月号(第1巻第3号)より継続購入

アメリカのジョージア州アトランタに本拠地を持つニュースステーション(CNN)では、全米と全世界のホットニュースを1日24時間生中継で放送している。本誌はCNNと提携し、宇宙中継で日本に送られてくるCNNニュース(HTBで放映中)を文字化、世界のニュースを英文とその翻訳で読むBilingual Magazineである。内容の一部を収録したカセットテープが別売りされていて、図書館にも所蔵している。また、そのカセットの一部を聞くことができるテレフォンサービスもある。

「English Express」1987年12月号 目次

巻頭カラー

反体制ポップアートの今

CNN特集 経済が面白い

明るい銀行—Trading Floorを開放したテキサスの銀行

日本市場で優勢の米企業—その成功の秘訣は？
ミニ復活でバンスト・ブーム

CNN BUSINESS NEWS CLIPS

CNN MONEYLINE ウォールストリートの動向を
キャッチする

PSYCHOLOGY

ベトナムの悪夢、子供たちにも

JOURNALISM

"ビッグ・アップル"の実態を暴露!

SELF-ESTEEM

キャバツ燭人形にも人種問題

ONTOLOGY

モナリザの謎の"涙"

CROSSFIRE

東芝事件：アメリカの仕打ちは正当か？

CHRISTMAS

究極のクリスマス・プレゼント

PERSUASION

パレスチナ新事情 アラビア語で商売を始めた
イスラエルの商人たち

LIFESTYLE

ヤッピーのハイテク育児術

スター・インタビュー One On One

ティナ・ターナー

FITNESS

ジェイクのフィットネス・ブレイク

SHOWBIZ TODAY

Miles Davis:

ジャズの帝王が語る音楽、麻薬、そして女...

Timothy Dalton:

胸わくわくのニュー・ボンド

SHOWBIZ SHORT CUTS 《芸能トビックス》

全米映画週間興業成績ランキング

地球を読む

CNN NEWS DIGEST

話のネタがいっぱい：ニール・ブリンコウの
American Footnotes

世界の新聞・雑誌をダイジェスト:

HEADLINE WATCH

日本を読む 日本たたきは国益にならない

特別雑談 CNNブツン・ストーリー

WHO'S WHO at CNN

久和ひとみ

FILM OF THE MONTH

マーシェンカ 俳優座シネマテン提供 12月
中旬公開予定

誰も知らないUS情報 What's New?

一部省略

~~~~~ 藤に咲く花 8 ~~~~~

クリスマスカクタス  
(シャコバサボテン Crab cactus)

ブラジル原産。シャコサボテンともいう。ふつう、二又(にさ)分枝を繰り返してしだれ、長さ30cmになる。葉はなく、茎は節をなし、扁平で数個の鋭い鋸歯がある。12月ごろに咲くので欧米ではクリスマスカクタスと呼ばれる。日本でも正月用の鉢物として作られている。花の色は通常は赤桃色だが、ピンクや白色、ピンクでふちどられた白色などもある。サボテンは、もともと葉がついた植物だったのが、乾燥地で水分が発散するのを避けるため葉がとげに変わり、茎も水分を貯めるのに適した姿に進化したものである。カクタスの語源はギリシア語のカクトス(「とげのある植物」の意味)。サボテンの呼び名は、ポルトガル語のシャボンがなまった日本語という説がある。サボテンの花言葉は、「熱情」



写真は『朝日百科 世界の植物 71-80』より転載。

参考資料:『平凡社大百科事典』1985 031/H51

『花ことば』 引田茂著 保育社 1984 627/H57

★お知らせ

◎冬季休暇中の開館・休館等を、下記の通りおこないます。

記

- |       |                     |              |
|-------|---------------------|--------------|
| 1. 開館 | 月～金                 | 9時30分～16時    |
|       | 土                   | 9時30分～15時30分 |
|       | 12月16日(水)～12月24日(木) |              |
|       | 1月8日(金)～1月14日(木)    |              |
| 2. 休館 | 12月25日(金)～1月7日(木)   |              |

詳しくは掲示板でお知らせします。

◎「自己紹介による図書館職員ラインアップ」は、都合により休載させていただきます。

◎本誌29号に誤りがありました。お詫びするとともに、下記のように訂正いたします。  
p. 3 左 1.25 若干 → 若冠

◎卒業される皆様へ  
図書館は、卒業後も今までと同様に利用することができます。詳しくは係におたずね下さい。

藤女子大学 図書館 だより 第30号 1987.12.10  
藤女子短期大学

発行者 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学図書館